KIFA Report

河内長野市国際交流協会

Vol. 105

Apr. 2018

- 設立 25 周年記念式典・公演
- フィリピン　レトラン学院交流
- フィリピンの学生とお茶しましょう！
- 外国人技能実習制度の基礎知識
- ピアノコンサート　～ポーランドの風～
- 世界情勢 ここに注目！ ～現代世界の状況～
- 世界情勢 ここに注目！ ～カンボジアの今～
- 国際料理教室　～韓国編～
- コンニチハ！日本語サロンです
- ボランティア・フェスティバル

〒586-0025　大阪府河内長野市昭栄町 7-1　キックス 3F　http://www.kifa-web.jp　Tel 0721-54-0002　office@kifa-web.jp

設立 25 周年記念式典・公演

1 月 21 日（日） 市民交流センター　イベントホール

国際交流協会の設立 25 周年を祝い、記念式典を開きました。河内長野市指定無形民俗文化財「西代神楽」の舞楽で文字通りの幕開けです。赤い毛氈（もうせん）の上で繰り広げられる神楽や舞囃子（まいばやし）でお祝いの気分が高まります。

続いて山本 明彦会長が開会の挨拶で、「グローバルな時代であってもローカルなふれあいとしての国際交流を」と話し、設立当初の「国際交流を楽しむ」という原点に立ち返る大切さを強調しました。

続くプレゼンテーションでは、KIFA リポート創刊号から現在までの誌面の数々を見ながら、25 年間の活動を振り返りました。時代の変化に伴って、KIFA の活動も変化し多様化し、流れる方向も変わってきていること、また、いかに多くの方たちと関わり支えられて活動を続けてきたか、改めて実感させられました。

来賓の和田教育長、桂市議会議長、西野府議会議員の皆さまからは、KIFA に対するお祝い、今後の活動に対する期待のお言葉を頂戴いたしました。

ここからは海外からのゲストの登場です。まずはフィリピンマニラから参加のレトラン学院の学生たちによるフィリピンの民族舞踊パフォーマンス。レトラン学院のダンスチームは毎年のように河内長野市を訪れ、市内の各学校での国際交流プログラムに参加しています。学院は、2020 年には創立 400 年を迎える名門校です。彼らの若々しく民族衣装も艶やかなダンスで会場は一気に華やぎました。

続いては、これも KIFA のいろいろなイベントに参加して、関わりの長いペルー出身の兄弟、フローレス・デュオ、フレディさんとヘススさんのステージです。彼らは、長年母国ペルーの孤児院への支援活動もしています。ペルー音楽には「花祭り」や「コンドルは飛んでゆく」など馴染みのものが多く、親しみやすさもいっぱいです。また、彼らの日本語トークがとても面白く、会場全体が彼らの語りと音楽に引き込まれていきました。クライマックスには、手拍子、足拍子のリズムが揃って、観客とステージが一体となって盛り上がりました。

会場に来られていた OSAKA IN THE WORLD 実行委員長の中橋 政美氏と、そのプログラムを通じて交流のあったフローレス・デュオとレトラン学院のランディ・レロ氏の再会の場面もありました。グローバル社会での人々のつながりに思いを馳せるきっかけになりました。

中橋氏とゲストの皆さん

これからは、これまでの25 年の歴史の上に新たな歩みを進めていくために、グローバルでありながら地元に根づいたローカルな活動が KIFAの役割として期待されています。

ヘススさん

フレディさん

☆レトラン学院から記念品をいただきました。
写真は左から、山本 明彦会長
ダーウィン・ランドゥイン学部長
ランディ・レロ准教授
キャサリン・サンチェス准教授

☆午後からの謝恩会で表彰された、設立以来の KIFA 運営部員の皆さん。左から、山本 明彦 会長、飯阪 保 副会長、馬場 博子さん、柴 理梨亜 副会長、白木 昭子さん、安藤 ひろ子さん、赤阪 浩子さん

フィリピンの学生とお茶しましょう！

1月19日　市民交流センター　イベントホール

2012年から河内長野と親交を深めてきたレトラン学院は、KIFAにとって遠くの親戚のような存在。今回はKIFA 設立25周年記念式典のために駆けつけてくれた20名の舞踊クラブ（レトラン・フィリピーナ・ダンス・カンパニー）のメンバーと、市民の皆さんやホストファミリーをまじえて楽しい交流会を開催しました。

◆メリエンダ Time!　フィリピンのおやつって？

フィリピンでは、午後に食べる軽食やおやつを「メリエンダ（Merienda）」といいます。
会場には、学生さんたちが準備してくれたチョコレート粥、スイートポテト団子、PIYAYA、フライフィッシュ、バナナチップなど、メリエンダの代表的な食べ物がずらり。一人一人に笑顔で配ってくれて、一気に心の距離が縮まります。参加者の皆さんが興味津々のチョコレート粥は、もち米にココアと砂糖を入れて煮たお粥で、コンデンスミルクをかけて食べるのが定番だとか。「すごく甘いのかと思ったらあっさりしてておいしい。スナックにぴったりです」とホストファミリーの方にも好評でした。

◆楽しくお喋り　英語より笑顔！

各テーブルに学生さんも座って、おやつを食べながらトークタイム。食文化のことや日本滞在中のこと、舞踊のことなど、色々な話題に花が咲き、あちこちで笑い声が上がります。
わたしもカタコトの英語で話しかけてみると、じっくり耳を傾けて、笑顔で応えてくれたのが印象的でした。皆さん子どもにもとっても優しくて、ホストファミリーのお子さんに話しかけたり、おやつをすすめたり、まるで親戚のお兄ちゃんお姉ちゃんのようでした。

◆伝統ダンスを披露！参加者もチャレンジ！

レトラン学院の舞踊クラブは、フィリピン国内の様々な地域の伝統舞踊を学んでいます。今回はそれをステージではなく間近で披露してもらいました。そのあとは参加者も踊り方を教わってダンスに挑戦。扇の使い方を教わったり、頭に小瓶をのせてもらったりと、フィリピンの伝統文化に触れました。
ところで、メンバーのポロシャツのデザインも伝統舞踊と関係があるとか。扇を持った姫と傘をさす乳母が描かれていて、傘には姫を守る意味があるそうです。「25 周年式典で披露するダンスにも登場するので、注目してみてください」と話してくれました。

レトラン学院 国際交流の１週間

関空到着

市長表敬訪問

清教学園

長野高等学校

長野小学校

くろまろの郷

くろまろ館で、まが玉づくり

着物とお茶の体験

千代田短期大学

長野保育園

外国人技能実習制度の基礎知識

～新たな外国人技能実習制度とは？～

1月13日（土） 市民交流センター　中会議室
講師：一般財団法人　アジア・太平洋人権情報センター
（ヒューライツ大阪）藤本　伸樹氏

外国人技能実習制度は、平成５年に創設された、国際貢献のため外国人を一定期間受け入れ、ＯＪＴを通じて技能を習得してもらう制度です。技能実習生は、「技能実習」の在留資格をもって日本に在留し、建設や食料品・衣服製造など77職種で技能を習得します。しかしながら一部で、この制度を悪用し技能実習生を安価な労働力として酷使する事例があったことから、外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律（技能実習適正化法）が平成29年に施行されました。

今回は、設立25周年講演会として、日本語サロンのメンバーからも知っておきたいと希望のあった、この新しくなった技能実習制度の概要と課題について藤本伸樹氏を講師に迎え、お話をしていただきました。

元々、日本の外国からの労働者の受け入れについての方針は、「非熟練労働者」を「原則として」受け入れないというものでした。しかし、実際には以前から「非熟練労働者」を受け入れてきたという事実もあり、日本の少子高齢化社会のなかで、受け入れ議論が活発化してきました。これを受けて平成２年には海外進出企業などによる研修制度が改定され、日本が技術移転により開発途上国における人材育成に貢献するという目的へと制度の意義が拡大されました。これにより人材不足に直面する日本の中小企業が、研修生として外国からの労働者を受け入れることが可能となりました。

平成５年には、１年の研修を修了した研修生に更なるスキルアップを目指す最長２年の「技能実習制度」が新設されました。しかしながら、受け入れの増加に伴い、研修生、技能実習生の不適切な受け入れ、低賃金労働者として扱われるなどの問題事例も増え、対応のため彼らも労働関係法令上の保護が受けられるように改善され、平成29年の技能実習適正化法へとつながります。

また、日本での介護分野の深刻な労働者不足から、技能実習制度への介護分野の追加が議論され、平成29年11月に外国人介護職が技能実習制度に加わりました。

技能実習制度は、開発途上国の若者の「人づくり」という建前のもとで行われていますが、実際には単に安価な労働力の受け入れという側面もあり、本来の目的と現実との大きなギャップが今後の問題となりそうです。

ニュースでベトナムからの介護実習生が、慣れない日本語でお年寄りと一生懸命コミュニケーションをとろうとしている姿を見て感激したことがあります。この制度が充実して国と国との結びつきがますます密になり、お互いの国のことを思いやれるようになればいいですね。

ピアノコンサート　～ポーランドの風～

Ethereal Piano Sound in Kawachinagano!

2月9日（金） ラブリーホール　小ホール

ヴィトールド ヴァルジゥキェヴィチ
Witold　Wardziukiewicz 氏　プロフィール
ポーランド共和国グダニスクに生まれ、4歳よりピアノを始める。
グダニスク モニュシュコ音楽アカデミー修士課程を首席で卒業。
カタジーナ・ポポヴァ＝ズィドロン氏に師事した。
2001年からヨーロッパ、中国、2012年からカナダで演奏、指導などに活躍。2017年河内長野に。

河内長野にまた新しい芸術家住民が増えました！

アーティストの要望で携帯をマナーモードにしたり、カメラをしまったり、身繕いを整えて観客は待ちました。そして午後7時開演。会場には、ヨーロッパの風、時にはポーランドの嵐のような音が満ち溢れて、聴衆は、その魅力の中にすっかり引き込まれていきました。ピアノの音が素晴らしく、すっかり聞き惚れてしまいました。レコードではない、CDなどのデジタル音楽でもない、生の音色の美しさをこれほど感じたことはありません。魔法をかけられたように、次々と音楽を奏で続けるピアノ。初めはやや緊張した面持ちのピアニストのヴィトールドさんでしたが、後半にはリラックスして茶目っ気もたっぷりの演奏を披露してくれました。いつの間にかピアノの上には小さなネズミの人形が登場して、演奏会場に柔らかい雰囲気を加えていました。観客席から湧き上がる「ブラボー！」の声に、思わず微笑むヴィトールドさん、アンコールも含めて最後まで素晴らしい演奏でした。

演奏の後には気軽に写真撮影。ショパンが好きでワルシャワに行ったことがあるという観客のお一人に、「ショパンに似てるね」と声をかけられ思わず笑顔。次回のコンサートはいつですか？

現代社会の状況　～今考えるべきこと～

2月3日　市民交流センター　大会議室
講師：桃山学院大学　名誉教授　村山 高泰 氏

2015 年の世界情勢の講座で、当時のマスコミなどで批判的に取り上げられていたアベノミクスについて、別の切り口でその理論的正当性を紹介して、とても興味深いお話だった村山先生。今回は、「国際社会は『戦争状態』」「『戦争状態』に対する日本の対応策」「環境問題と原発問題」という３つのテーマに沿ってお話をお聞きしました。

なぜ韓国や中国は「慰安婦問題」や「南京事件」で日本を非難し続けるのか？尖閣諸島や南シナ海諸島へなぜ中国は軍事的脅威を発信し続けるのか？など、国家同士の戦争にまでは発展していないものの、多くの争いが世界各地でみられます。これらは歴史戦、外交戦、心理戦などで自国を優位にするためのもの。そういう意味では、国際社会は『戦争状態』と言えるのだそうです。

日本がそれに対応していくためには、「平時」から「紛争状態」までの間に発生する多様な紛争・対立に対処できる武装警察力の強化と整備が必要と話されました。北朝鮮の核問題については、日本はアメリカの核の傘から出て自ら核武装するため非核三原則を見直す準備をする必要が出てくるとの予測もお話され、今回も切り口の違うお話でした。

最後に、環境問題に関連して、再生可能エネルギーがもてはやされるこの頃ですが、その裏にある問題も指摘されました。例えば、太陽光パネルの寿命が 10年ほどで、その後はそのパネルが石油加工品や鉛や有害金属などを含むゴミと化してしまうこと、水力発電のダムが魚の住めない環境を作り、また下流の河口の砂が減少して海岸線の浸食が進んでしまうことなど紹介されました。また、地球温暖化が叫ばれている中でのこの冬の異常な寒さについても、温暖化と関連づけて説明する気象学者もいます。しかし、逆に氷河期に向かっているという説があることを紹介されました。実は過去にも地球は何度か一種の氷河期を経験してきており、例えば中世においては温暖期と、テムズ川やオランダの運河が凍ったりした小規模な氷河期があり、そういう時代は、飢饉が起きたり政情が不安定な時期と重なっていた時代だったとか。もっとお話を聞きたいと思っているうちに今回の講演は終わりました。

カンボジアの今

2月10日　市民交流センター　大会議室
講師：大阪大谷大学　人間社会学部　准教授　岡島 克樹 氏

2017 年度、2 回目の“世界情勢　ここに注目!”は、大阪大谷大学の岡島克樹氏を講師に迎え、カンボジアのお話をしていただきました。岡島氏は、JICA から企画調査員としてカンボジアに派遣され、４年間プノンペンに在住されており、現在も授業や研究、NGO の仕事の一環で、ほぼ毎年カンボジアを訪問されているそうです。

ご専門の開発学という観点からお話を伺いました。開発学というのは、あまり聞きなれない学問分野です。以前は開発途上国の貧困や開発援助に関する学問とされていましたが、近年では「人間の安全保障」や「持続可能な開発目標」が提唱され地球社会全体の開発課題を研究する学問とされています。

カンボジアは、長い内戦を経て、1990 年代、パリ和平協定の締結と国連による暫定統治を経験した国です。当時、PKO の青のベレー帽や帰還難民、地雷などに象徴されたこの国は、日本をはじめ各国から経済的、人的援助を受けて順調に経済成長を遂げてきています。しかしながら、2017 年には、最大野党であった救国党の党首が国家反逆罪で逮捕されるなど、弾圧により人権状況が著しく悪化し、今年の７月に予定されている国政選挙が自由で公正なものになるのか、懸念されています。政治面だけではなく、現在は古い建物の破壊、高層ビルの建設ラッシュで、都市化のスピードが都市政策のスピードを超えてしまっているとも感じられ不安に思われるそうです。

学生を引率してカンボジアに行くと、電気・水道のない村で数泊すると最初は「あれがない」「これがない」と言いますが、そのうち、意外に暮らしやすいこと、そして日本の生活は「あれもこれも無いと生きていけない」環境負荷の高い暮らしであり、われわれが地球環境の破壊に貢献してしまっていることに気づくそうです。

以前ブータンの話を聞いたときにも感じましたが、私たちが便利さ、豊かさと引き換えに失ってしまったものの大きさは想像以上のものかも知れませんね。

美味しいキムチ、作りました！

2月10日（土）　市民交流センター　食工房
講師：金（キム）　鳳貴（ボンギ）さん

今回の国際料理教室では、寒い日にぴったりの韓国のキムチとお鍋料理を作りました。講師はおなじみ、金先生。本場韓国のキムチづくりを体験しながら、おいしく作るポイントをしっかり伝授してもらいました。

◆下準備

前日から先生とスタッフで白菜８玉を塩漬けにしました。芯までしっかり塩をするのがポイント。途中で何度か上下を返してあげると、より早くしっかり漬かるそうです。

◆ヤンニョム（薬味）作り

薬味は、唐辛子、のり、魚エキス、にんにく、生姜、そして参加者の皆さんが切った玉ねぎ、大根、青ネギ、ニラなどの野菜をどっさり混ぜて作ります。のりは、もち粉と水を火にかけてとろみをつけたもので、キムチの色が良くなり、薬味が馴染む効果があるそうです。うまみの決め手は魚エキス（魚醤）で、キムチの発酵も助けてくれます。さらに先生は甘エビの塩辛をミキサーでペースト状にして加えてよりうまみ豊かに。唐辛子粉には甘口や中辛があり、今回は辛さ控えめに甘口ベースですが、それでも覗き込むと目が痛いほどの刺激！ 作業する先生は、涙ぐむほどでした。

◆漬け込み

塩漬け白菜 1/4 玉の葉を１枚づつめくって、ヤンニョムを塗り込みます。芯は漬かりにくいので、「奥までグッと入れるのが大事ですよ」とアドバイスが。また、てんこもりに挟んでパンパンにするより、丁寧に塗って綺麗にまとめるのがいいようです。キムチは発酵させることでうまみや酸味が出ます。持ち帰ったキムチは、１週間ほどでおいしくなるそうです。

◆キムチ耳より話

「夏はきゅうりのキムチもおすすめです。塩水につけるか塩をして、薬味に漬ければすぐできます。十字の切り込みを入れて丸ごと漬けるか、食べやすく切って漬けます。からし菜のキムチもおいしいですよ。ワケギでも作ります。」

キムチ作りのあと、ポッソチョンゴル（きのこ牛肉鍋）も作って皆さんでいただきました。唐辛子の入らないシンプルな鍋料理で、しょうゆとみりんで下味をつけた牛肉とたっぷりのきのこを鍋に入れ、少しの水で煮るだけ。素材から出た出汁のうまみたっぷりで、「あっさり味のすき焼きみたい」「ヘルシーでおいしい」と大絶賛でした。炊きたてご飯、お鍋、そして新鮮な浅漬けキムチで、心も体もあたたまりました。

試食中、参加者の方から「先生、お肌きれいですね」との声が。「私なんて全然～。でもきれいな人多いですね」と先生。韓国の人はキムチでたっぷり乳酸菌が取れるので内側からきれいになるのでしょうか。今回の国際料理教室には、貸農園で野菜を作っているという男性や、子育て中のママさんのご参加もありました。これからも色々な方に世界の料理を楽しんでいただけますように。

●日本語サロン　スケジュール

月＼曜日		日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
4月	Apr	1・8・15・22	3・10・17・24	5・12・19・26
5月	May	6・13・20・27	8・15・22・29	10・17・24・31
6月	Jun	3・10・17・24	5・12・19・26	7・14・21・28

<開講場所と時間>
日曜日 Sundays　14:00～16:00
千代田公民館　2階
火曜日 Tuesdays　10:00～11:45
市民交流センター（KICCS）3階
木曜日 Thursdays　18:00～20:00
ノバティ南館3階　ノバティホール

●語学クラブ　スケジュール

コース		英語 フリートーキング	英語（中級）	英語（初級）	中国語（初級）	中国語（入門）
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	10:00~11:30
開講日	4月	14	10・24	3・17	6・20	4・18
	5月	12	8・22	15・29	11・18	16・30
	6月	9	12・26	5・19	1・15	6・20

インフォメーション Information

■ヤングアメリカンズ in 河内長野 2018!

1962 年にアメリカで設立されたヤングアメリカンズは、音楽公演と音楽教育を2本の柱に、世界中で活動している非営利団体です。日本国内でも、ぜひ自分の地域に! という声が高く、今年も河内長野に招くことができたことは、非常に幸運と言えます。

この機会に、ぜひ子どもたちをヤングアメリカンズとの音楽を通じての体験に参加させてあげて、新しい可能性を自分の中に見つけるお手伝いができればと考えています。

ところ：ラブリーホール
と　き：5 月 1 日（火）17:00 ~ 20:00
2 日（水）17:00 ~ 20:00
3 日（木・祝）10:00 ~ 20:30
ショー　18:30 ~ 20:30
募集定員：小学生　160 名、中高生　70 名
参加費用：15,000 円
申込方法：パソコン、またはスマートフォンからのみ
詳しくは別紙のチラシをご覧ください。
共催：河内長野市国際交流協会
後援：河内長野市、河内長野市教育委員会

KIFA会員限定席
ショーの観覧席を
会員限定でご用意!
★申し込み方法は、
チラシをご覧ください。

■河内長野市国際交流協会　平成 30 年度総会

と　き：6 月 3 日（日）11:00 ~ 12:00
ところ：市民交流センター 3 階　大会議室

■日本語サロン　木曜スタッフ募集！

地域在住の外国人の方に、ボランティアで日本語学習のサポートをしてくださる方を募集します。

応募資格：
・河内長野市国際交流協会主催の「日本語ボランティア講座」、または他機関で日本語教育に関する講座を受講した経験のある成人の方。
・木曜日 18:00 ~ 20:00 のクラス（場所：ノバティ多目的ホール）に毎週参加できる方。
募集人員：若干名。応募者多数の場合は、抽選。但し選外となった方は、待機スタッフとして登録されます。（1 年間有効）
応募〆切り：4 月 25 日（水）
応募方法：電話またはメールで、国際交流協会事務局へ。住所、氏名、電話番号と受講講座名または機関名をお伝えください。
＊日本語学習サポートに興味と熱意のある方大歓迎です。
（サロンの見学もできます）

■語学クラブ　平成30年度　受講者募集

今年度の語学クラブの受講生を募集いたします。

開講クラス：
英語（初級、中級、フリートーキング）、スペイン語（初級）、
中国語（入門、初級）、韓国語（入門、初級、中級）
対　象：大学生以上の KIFA 会員
参加費：1 年間　11,000 円
申し込み：ただいま受付中
※詳細は事務局までお問い合わせください。

■平成30年度　会費納入のお願い

KIFA 会員の継続手続きはお済みですか? 毎年、年度末で継続手続きが必要になります。まだの方は、同封のチラシをご覧いただき、早速お手続きください。
年会費は、学生会員：1,000 円、一般会員：2,000 円、家族会員：3,000 円、団体会員：10,000 円です。
また、便利な自動振替も可能です。詳しくは、事務局までお尋ねください。

コース		スペイン語（初級）	韓国語（中級）	韓国語（初級）	韓国語（入門）
時間		19:00~20:30	13:00~14:30	10:40~12:10	15:00~16:30
開講日	4月	6・20	11・25	11・25	11・25
	5月	11・18	9・23	9・23	9・23
	6月	1・15	13・27	13・27	13・27

■問い合わせ・申込み■
河内長野市国際交流協会（KIFA）
事務局
〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター（キックス）3 階
TEL: (0721)54-0002
FAX: (0721)54-0004
Eメール: office@kifa-web.jp

初めての日本の生活

なかの　たまえ
中野　玉枝（台湾）

みなさん、こんにちは。中野 玉枝と申します。趣味は編み物、読書です。日本人と結婚し、2017 年の 9 月に台湾から来ました。現在、大阪の河内長野に住んでいます。

子供の頃、日本のアニメをいつも見ていました。特に『ちびまる子ちゃん』『あたしンち』の様な、愉快な日常を描写した作品が好きでした。それに、元々名前の" 玉枝" はまるこちゃんの親友の名前です。その作品の面白さをもっと知る為に、アニメをきっかけにして、日本語の勉強を始めました。ある程度の日本語を覚えた後、文学作品を読むだけではなく、日本の文化やマナーも少しずつ学んでいきました。それから、ずっと日本の生活に憧れていました。

主人と付き合って以来、2 年以上の時間が経ちましたが、日本の生活に関して体験はほとんどありませんでした。最初、日本に来た時、様々な物事がアニメと似ていますので、楽しかったです。例えば、ゴミの回収のやり方とか、代金の精算とか、朝食は米などです。日本と台湾の文化の間には多くの違いがあると感じました。

台湾人の立場からすると、毎朝の食事を準備することは辛いことです。台湾には朝食店は何処にでもあります。そして、速いし、非常に安いです。だから、朝は早く起きる必要がありません。比較して言えば、日本の場合は早起きしないと、恐らく時間が間に合わないことでしょうか。

驚いたことはもうひとつ、それは住宅区の墓地に関することです。日本では、人々が住んでいる所は、お墓が見えています。台湾の個人専用の墓とは相異して、ほとんどはお骨を代々あわせて祀っていく形態の墓です。最近、日本人から聞いたのですが、一般的なお墓の費用は凄く高くて、交通不便の原因もあるため、IC カードをかざす自動搬送式の納骨堂があるそうです。

最後になりますが、日本に住んで間もないですが、日本の文化に慣れる為に、これからも引き続き大好きなアニメを見たり、日本の様々な場所を旅行したりしながら、いろんなことを勉強していきたいです。

ボランティア・フェスティバル

2 月 25 日（日）　市民交流センター

今年も KIFA は展示部門にブースを出しました。会場は朝から大勢のお客様で熱気にあふれていました。スタンプラリー用に用意したクイズにも真剣にとりくんでいただきました。

先日のピアノコンサートで感動した! と声をかけていただき会員になってくださる方。またスタッフの熱心な活動報告を聞いて、ネパールへ文具を送るための支援金集めのバザーにご協力いただいたりと、初めて参加させていただいた私も感動の一日でした。

（事務局　二宮）

2017 年 4 月から入局しました二宮葉子です。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

設立 25 周年の式典も終了し、新たな歩みを進め始めた KIFA。5 月初めには、世界中で、子どもたちへの音楽を通じてのアウトリーチを進めているヤングアメリカンズが、河内長野にやってきます。日本中で大人気のプログラムで、子どもたちは40名ほどのアメリカの若者から、3 日間、ダンスや音楽を習います。受講の申し込み開始からすぐに定員に達してしまう会場も多い中、河内長野ではまだ知名度が低いようです。しかしこれまでにすでに 700 人近くの子どもたちが河内長野会場で参加し、それぞれに素晴らしい経験をし、結果を出してきました。最終日の発表ステージは、毎回驚きと感動です。今年のテーマは" Sky' s the limit"、「空がリミット」??? とは、つまり「さえぎるものは空だけ」ということ。言い換えれば、「可能性は無限大!」「やれば何でもできる!」子どもたちへの応援としては、ぴったりの言葉ですね。

gateau

無料メールマガジン配信中！

KIFAの楽しいイベントや情報をいち早くお知らせします。
お申し込みは、事務局または、KIFAホームページから

http://www.kifa-web.jp/